

# Charnley 人口股関節の術後(亜)脱臼の頻度と関連因子

東3階病棟：森 紀美子・林 弥生・今井布美子

## 1. はじめに

人工股関節全置換術（以下THRと略す）の重要な術後合併症に脱臼があげられるが、脱臼の事例は少なく、これまで具体的イメージがないままに術後の看護や退院指導を行ってきた。今後、THRを受けた患者に対し、より有効な生活指導を行うため、過去にどの位の頻度で脱臼が起こっているかどんな場面でどんな背景があり起こっているかを明らかにする必要があると考え、この研究に取組んだ。

## 2. 目的

THR術後患者への有効な生活指導のため、過去の脱臼事例を検証し脱臼に至った原因と関連因子を明らかにする。

## 3. 研究対象及び方法

### 1) 対象

当科において1972年10月から1995年3月までに行われたCharnley THE607関節を対象とした。初回THRが578関節（95%）、再置換THRが28関節（4.6%）骨頭切除後のTHRが1関節あり、手術時の年齢は28-85歳（平均61歳）だった。

### 2) 方法

外来カルテ、入院カルテ、看護記録より術後(亜)脱臼を生じた事例を探し他事例との間で以下の項目を比較検討した。

：手術時年齢・病名・脱臼の時期・回数・初回手術か否か・脱臼時の恰好・関節可動域の状況レントゲン所見

## 4. 結果

### ・頻度

12事例12関節（2.0%）に術後(亜)脱臼を認めた。

緩んだ人工股関節や人口骨頭の再置換後の脱臼が4例あり、再置換術例の14.3%が脱臼したことになる。初回THRの脱臼1.2%に比べ高率であった。

### ・関節可動域

股関節の屈曲、外転角度を術前と退院時で調べ、非脱臼群と比較した。

屈曲角度は脱臼群で、術前:83・3° ±18・3° 術後:81・3° ±12・1°

非脱臼群で、術前:65・2° ±23・6° 術後:67・7° ±20・3°

外転角度は脱臼群で、術前:25・6° ±13・3° 術後:30・0° ±7・1°

非脱臼群で、術前:7・9° ±12・0° 術後:20・0° ±11・6°

いずれも脱臼群の関節可動域のほうが大きく、有意に差がみられた。(有意水準5%)

#### ・年齢

手術時の年齢は、脱臼群が平均67.3歳（55歳から78歳 標準偏差5.95）で、非脱臼群の平均58.7歳（28歳から75歳 標準偏差7.5）に比べ、高齢であった。

#### ・脱臼の時期

初回脱臼までの期間は、術後1カ月以内の入院中の脱臼が3例、3カ月までのものが4例、1年9カ月から5年7カ月が4例、1例は15年4カ月であった。

#### ・脱臼時の肢位

脱臼時の肢位は様々だが、しゃがまずに腰を曲げて草取りをして、入浴中足を洗っていて、ズボンを履いていてなど、股関節の屈曲、内旋を強要する肢位が7例と多く、腰椎の前彎がある例では、野菜を取ろうと背伸びをしてという例があった。

### 5. 考察

これまで私どもは、術後脱臼の直接の原因にのみ目が行きがちだった。しかし脱臼は私どもが考えていた以上に複雑で、様々な要因が絡み合っていて発生していたことがわかった。又、再置換例が多いことから再置換患者への生活指導を強化するとともに、初回THRの患者にも再置換にならないために股関節への負担を最小限にするよう指導していく必要がある。今回の研究を生かし、より具体的な指導が行えるように指導内容の見直しをし、術後早期から生活指導を行っていく必要があると考える。

そして、術前から患者の個性や今回の調査で明らかになった要因を踏まえた注意深いケア計画を立案し術後は確実に実施していく必要があると思われた。

### 6. まとめ

- 1) 1972年10月から1995年3月に行われた、Charnley THR 607関節につき術後脱臼の頻度とその原因について調べた。
- 2) 12関節（2.0%）に術後脱臼を認めた。  
初回THRで1.2%再置換THRでは14.3%と高い率で発生していた。
- 3) 高齢者により多く、また術前・術後の関節可動域が良好な例に、多く脱臼が発生していた。
- 4) 術後3カ月以内の脱臼が半数以上あり、この期間は特に日常生活動作上での股関節の90度以上の屈曲内禁止を、徹底する必要がある。

### 7. 参考文献

- 1) 池田 定倫：Charnley式股関節全置換術の術後脱臼について、  
整形外科と災害外科，37(3)：P1042-1045,1989.
- 2) 池田 文一：人工股関節術後脱臼症例の検討，  
京二赤医誌，VOL.13,1992.

表：脱臼症例

	手術時 年 齢	性別	病 名	初回or 入替え	脱臼の 時 期	脱臼の 回 数	何をしていたか 脱臼時の肢位	屈曲・外転角度 前 後
1 K・T	69	女性	変形性 股関節症	初回	1年 9カ月	3回以上	自宅でつますいて転倒 自宅で尻もちをつく	100 110 30 30
2 H・K	72	女性	変形性 股関節症	初回	2 週間	1回	肢位不明	40 75 0 20
3 U・H	55	女性	変形性 股関節症	初回	15年 4カ月	1回	畑でしゃがまずに 草とり	70 90 10 35
4 A・F	64	女性	急激破壊性 股関節症	初回	5年 10カ月	6回	野菜を取る際背伸び (腰椎の後弯あり)	80 90 30 30
5 K・A	65	女性	頸部骨折	初回	4週間	1回	入院中、起立訓練時 肢位不明	110 110 30 40
6 T・Y	60	男性	脱臼骨折	入替え	3カ月	頻回	寝ていて起き上がった 際、頻回に脱臼	90 80 35 30
7 M・K	72	男性	頸部骨折	入替え	3カ月	1回	ズボンを履く時 左脚を屈曲，内転	70 90 10 40
8 S・K	78	女性	変形性 股関節症	初回	2年	1回	外旋内転位にて	90 90 40 30
9 K・M	71	女性	急性破壊性 股関節症	初回	4年 6カ月	3回	物を足で避けた時 外旋して	90 80 45 20
10 T・N	70	女性	変形性 股関節症	入替え	3カ月	1回	入浴中体を洗っていて 前屈姿勢をとった	100 90 30 30
11 H・Y	63	男性	外傷性 股関節症	初回	2週間	1回	肢位不明 (脚長差に気づく)	90 60 30 20
12 S・T	69	女性	変形性 股関節症	入替え	6週間	1回	入浴中パンツを履こ うとして屈曲内転	75 60 20 30